



先生とのセックス日記

モノクロ
一部カラー

49p

ええ、い
するまでし
りって言っ
たよね

うってた
うってた！

楽したら
いてあげた
やうわ！

いやあつて
うらやまし
い

飯と言え
ばうちは
初経来た
にお母さ
んとお姉
ちゃん
人で赤飯
食べたわ

いや女子
限定
イベント
だからさ

あと、いっ
ぱいばん
ばんと
音がなる
さうにや
って
みようと
したら、

何れもあ
ちゃんば
が
取っちゃ
ったんで
すけど、

JKの癖に
カウテク
くてエロ
い
なんでも
あんなに
好きして
て
一人で
やって
しまっ
て
いまし
た。



あらすじ

とある女子校に通うJK「梅乃」。
勉強が得意、運動は苦手。
人当たりがいいけど、交際経験なし。
そんな清廉潔白で優等生……
とみんなに思われている彼女には、
一つだけ誰にも言えない秘密を
隠していた。

「私は学校の先生とセックスしています。」

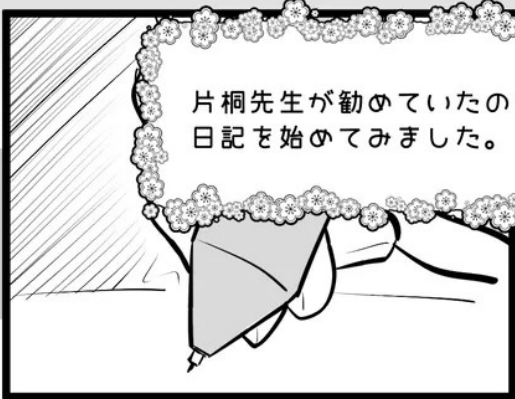
受験の為に書き始めた日記だったが、
いつの間にか先生との淫行を
書き連ねていく梅乃。

真面目そうに見える先生と生徒。
そんな二人が一線を踏み越えて
体を重ね続ける毎日が、
”梅乃の日記”から語られる、
モノクロ・カラー漫画！

3パート構成。
パート1：12p
パート2：14p
パート3：21p
一部カラー挿絵あり。



パート1



かたぎり
片桐
(塾講師)

日記つけると
いいぞ

この時期は色々と
迷いや悩みが増える

1日の終わりに
気持ちを書き記す
だけでも

不思議と気持ちの
整理もついて
自分が本当に何を
したいのかが
見えてくる

それに毎日の勉強の
成果も書けば

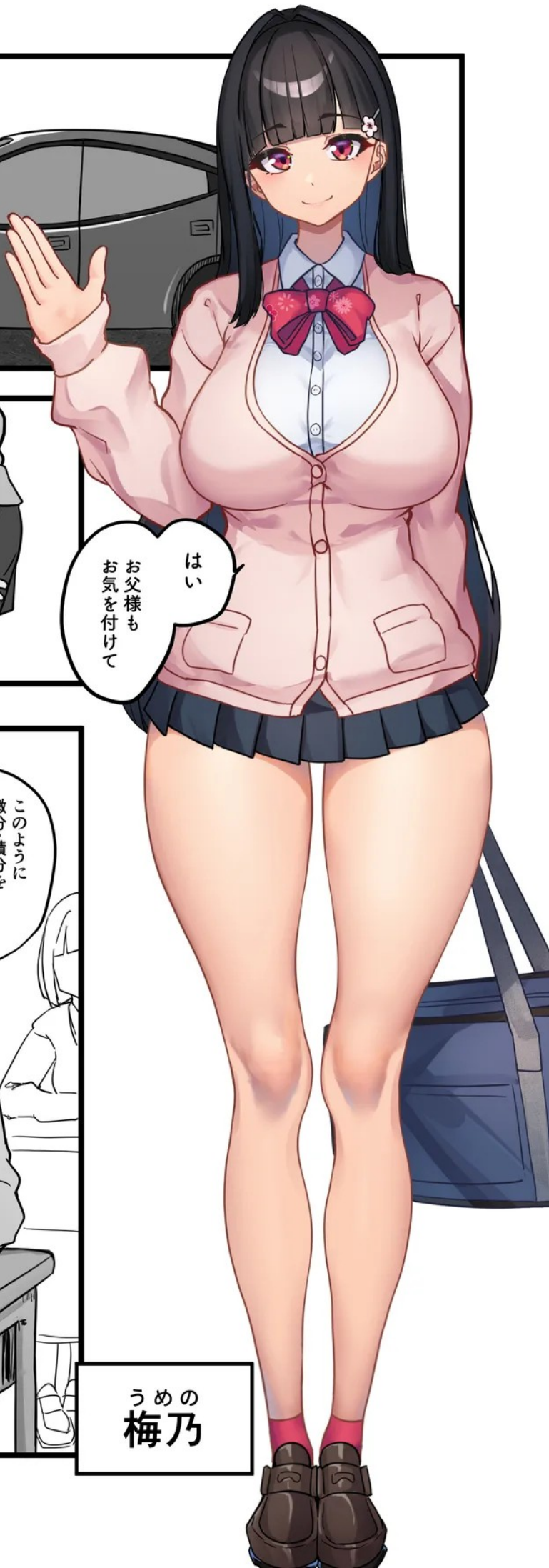
記憶をごまかす
余地もなく
サボってるかが
客観的に分かる
からな!!

H
A
A
A
A



はい
お父様も
お気を付けて

うめの
梅乃





運動に関しては——

橘花先生っ！

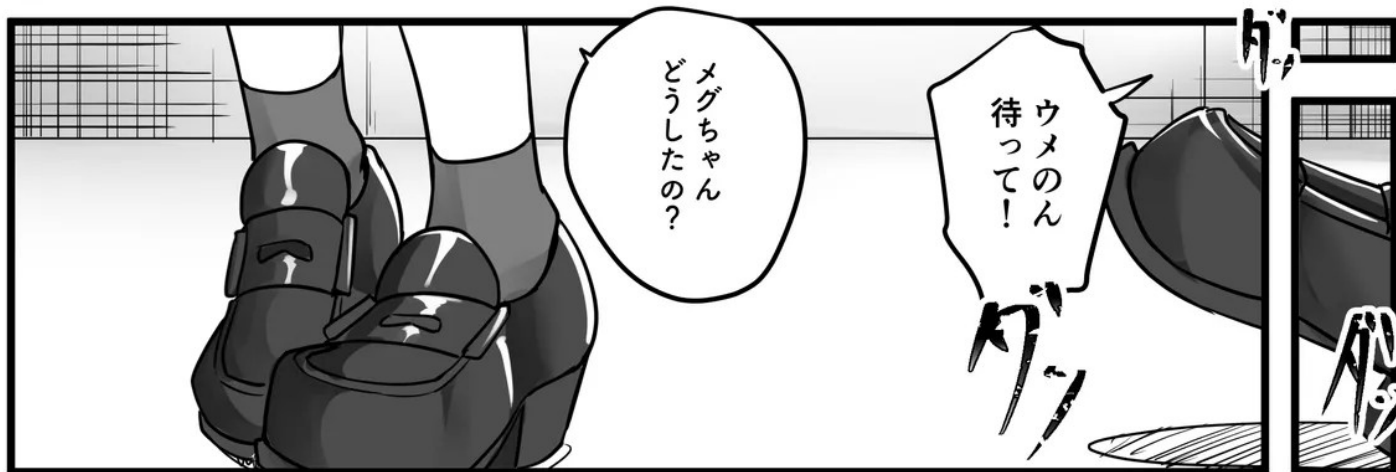
もう無理です…

これ以上は
おっばい取れ
ちやいますう！

あがえっ！！

ほお…
先生に喧嘩を
売る余裕は
あるみたいだな？

——二人ほど
得意になれる気はしない
けど。





あ、でもほら――

両親から常々誠実さを忘れぬようにと教えられてきました。



人をカブトムシを引寄せさせる罠みたいな言い方しないで

それにあやかりたいのにな

ね
いくら女子校とはいえ塾も行ってるしむしろ男子が寄ってくる蜜を持ってるのに

ってかさ
ウメのん
彼氏いないの不思議だよ



ピュア過ぎて心配になっちゃうよね

修学旅行懐かしい

ああ、
言ってた言ってた

ウメのんって確か結婚する人としてか付き合うつもりないって

自分で蒔いた偽りの種はいつか自分で刈らなきゃいけないからと。



そういえばえっちな結婚するまでしないつもりって言ってたよね

言ってた
言ってた!

処女卒業したら赤飯炊いてあげたくなっちゃうわ...

いや言うて
うちらも...

それは
言うな

ちょ、ちょっと!!
今こんな所でそんな話しないでよ!!

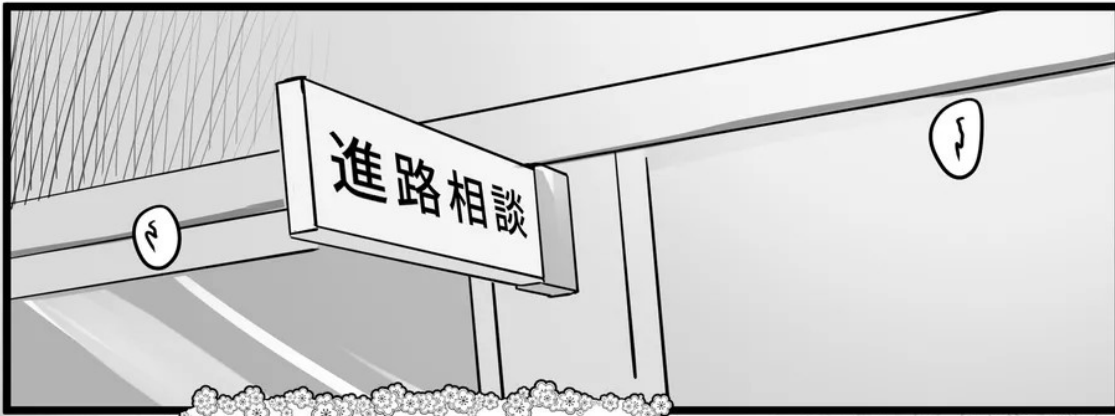
お父さんは? ww

赤飯と言えぱうちは初経来た時にお母さんとお姉ちゃん3人で赤飯食べたわ

いや女子限定
イベントだからさ

き、聞いてない!?

でも、
私にはどうしても誰にも
言えない秘密があります。



私は学校の先生と
セックスしています。



先生は一年の秋ごろ、

朝会で言っていた通り

今日からうちのクラスの副担任だ

大学の後輩で散々面倒見てやったから

どんどんコキ使ってやってくれ

うるせえな

パソコンオタクなのと

ジムのインストラクターやってたから

パソコンで困ったり

ジム使いたくなったら

まずコイツに言えな？

ご家族の介護で急遽退職した松岡先生の代わりとして、

京子先生の紹介で入ってきました。

情報の授業なんて今まで誰も興味なかったのに、

一躍人気となっていて、

そんなみんなの反応を呆れながら見ていたのを覚えています。

ジムのインストラクターって何してたんですか？

筋肉触らせて！

ヨガとかできましか？

京子先生とはどのくらい仲いいんですか？

視力いくつ？

ねえねえ、みんなであだ名考えようよ！



優しくて真面目で

でも日が経つに連れ、
先生を目で追うことが増えていた
自分も覚えています。

普段の真剣な眼差しを
裏切るような花火みたいな
笑顔を見せたり

若さ故のウブな
傲慢さが無いのに、
やさぐれているような
振る舞いもなく、



きっと誰にも見せていない
心の中で燃えている野望がある、
それを支えてあげたいと
思い始めました。



夫婦になりたい
先生の子を産みたい
そんなことも
考えるように。

紆余曲折あって
今となっては
あの私が先生と一線を
超えた関係になり、

お互いの煮えたぎる
性欲を発散する為に
隙あれば体を重ねる
日々です。

今日なんかはお父様の
塾の迎えが早まって
しまったのであまり時間が
なかったのに、

お互い我慢できなくて
フェラだけでもと
いつもの部屋に
駆け付けたほどです。

おまんこが寂しくは
なっていました、

先生はフェラが好き
なので私もフェラが
大好きです。

それに先生のカウパーと
私の唾液が混ざり合い、
ぱんぱんに膨れてコリコリ
した亀頭に絡みつくと
病み付きの美味しさにな
るので好きです。

先生のおちんぽを
舐める幸せはどんな
高級料理にも敵いません。

ごめんなさい、お父様。
でもフレンチ料理は
好きですから。

いん

最初ははしたない顔になってしまうのが恥ずかしかったけれど、

先生が可愛いって言うってくれるので今ではむしろ好きです。

セックスする時はおまんこを先生に預けることしか出来ないけれど、

フェラはやり方を勉強すればもっと先生を気持ちよく出来るからというのも好きな理由の一つです。

いん

フェラしてる時に先生とずっと見つめ合うことができ、

息遣いが荒くなっていく先生を見れるのも好きです。

しゃぼん

あ、先生の
スイッチ
入っちゃった♡

今回は先生のおちんぽを全部味わいたくなって思いっきり啜えたら、

すごい声が出ちゃったんですけど、

先生の目つきが変わっておちんぽも更にびんびんになっていました。



犯されちゃう♡

犯されちゃう♡

口おまんこ
思いつきり
犯されちゃう♡

先生は誰にでも
分け隔てなく
優しく接するから、
みんなに
愛されています。

そんな先生が、



私とセックスする時は
獣のオスに変わるんです。

先生
好き♡

でも：
好き♡

苦しい
…っ♡

もつと気持ちよく
なつて先生♡

私の口おまんこに
種付け精子いっぱい
出してっ♡♡



私だけが知る先生。

先生だけが知る私。

誰にも渡さない。

絶対に。

パート2





こうしちゃ
だめですか？

え？

今日は初めて先生の
手を握った日の一周年。

先生の手
大きいですね

拒絶される恐怖に
怯えながら握ってみて

ためらってはいても
一瞬先生も握り返して
くれた日。

あの日気付いた。



唐揚げを
作ってみたくです！

先生！

地道に距離を詰めた
ことが無駄では
なかったこと。

可能性がある
ということ。

先生っ
おはようございます！

———
抑えられなくて
……………

むしろ思考が
どんどん曇って
きちゃって

そして、

自分から攻めに行かないといけないということ。

いけないって分かってるのに怪しいサイトとか出会い系の掲示板を見に行ったりして……

そんな自分が怖くなってきたんです

だから……
どうせ間違えるなら本音をぶつけてみようって
……………

助けを……
求めてみようって

先生は真面目で、大人だから。

かべ
私が先生を少しずつ壊していかなきゃいけないって。

私っ！

先生のことが好きなんです！

先生にしたら全てを預けてもいいと思えるんです！

私の……

私の性欲を受け止めてくれませんか？



それからというもの

なし崩し的に発展して
いった毎日を、

今でも鮮明に思い
出せます。

先生の手っ♡

先生の手っ♡

おっばい
触ってくれてる♡

初めておっばいを
触ってくれた日。

初めてキスをした日。

初めてお尻を触って
くれた日。

初めておっぱいを見せた日。

初めて手マンしてくれた日。

げ、下品なおっぱいですよね？

うっっ可愛くないですっ！

やばいですっ♡
先生の指♡
気持ちいいっ♡

あ〜♡
で、出ちゃいますっ♡
ダメですっ♡

な、何がって…
うっっ♡

体育の授業とかで着替える時でも凄く恥ずかしいんですから！

先生にかかっちゃいますっ♡♡♡

♡♡♡

ダメダメっ♡

あ〜♡
本当にもうダメ♡

思わず「タメタメ」
って言っちゃったのに

やめないで
思いっきり
イかせてくれた
あの日。

せんせいっっっ
♡♡

あまりの気持ちよさと、
私の愛液で汚れた先生を見て、

既にえっちだった私も
さらに何かが壊れて
しまったような気が
します。

え、えへへ

いえ、凄い
気持ちよかったです♡

ありがとう
ございました♡

先生を……
汚してしまい
ましたね……
タオルあるので
拭かせて
ください♡

それと——

あ……

コンドーム……

初めてセックスした日。

正直全然気持ちよくなって、

むしろ苦しくて、

先生を気持ちよくしてあげられなくて、心配させてしまいました。

一番特別な日になるはずだったのに、

結局手コキで射精させてあげることになり、思い返すと苦笑してしまいます。

慣れれば気持ちよくなると分かってはいても、

それまでどれだけあれに耐えればいいのかと絶望してしまった自分がいました。

先生……っ

だ、大丈夫ですっ

好きなように動いて……ろっ！

するんだ……

これから本当にセックス……

先生と

ついに

そんな日々を超えて
今日もまた体を重ね、

フェラしてる時に
手を握ってくれたのが
凄く嬉しくて、

先生があんな些細な
日を覚えてくれている
訳がないと分かって
いながらも、

手マンで今まで以上に
潮吹きしてしまいました。



ん

先生♡

今日もいっぱい
おまんこ♡
お願いします♡

か

ぱん



せんせいっ♡

ふああああ♡

当然セックスはもっと
気持ちよくて、

ズンズン

おまんこで先生の
おちんぽを必死に
抱きしめていました。

ズン

んんん



先生もコンドームが
取れちゃいそうだと、
喜んでくれました。

おっ
♡

気持ち
いいです
♡

好きです
♡

先生も気持ち
よくなってください♡

いっぱい私を
使ってください♡

先生
♡

せんせい♡

先生
♡

好きです♡

そういえば最近はセックス
しながらキスするの
も上達してきました。

体を動かすのはいつも
先生なのに、今まであまりの
気持ちよさに他のことに
意識が向けられなかった
のです。

今はちゃんと先生の舌に絡ませ
ながら、お互いの息と唾液を交換
しあう瞬間に興奮できるよう
になりました。

先生っ
♡

ダメっ
♡

もうイッ
ちゃいます♡

イクイク♡

イク♡

けれど——

イクイクイクっ♡♡

絶頂してる時はもう頭が真っ白になってバカになっちゃうのは相変らずではありますが。

でも嬉しいことに先生も射精している時は頭が真っ白になっているようで、

先生も射精してくれてる♡

あ…♡



ゴムを着けているのに
中出しで種付けしている
かのように腰をぐりぐり
押し付けてくるんです。

先生、
私も生セックスが
したいです。

先生に中出し
してもらいたいです。

でも今は我慢。
ガマン...

パート3





——私が、

今週末は

お父様もお母様も
帰って来ないんですけど

お暇だったり
しますか？

そんな二人の仲を
引き裂いたのです。





まだ靴がっ♡

せんせっ♡



ん♡

れ♡

先生はすごくお酒臭くて
キスでもらう唾液で
酔ってしまうような
気がするほどでした。



泥酔している先生と
するのは初めてでしたが、

とりあえず
フェラして
あげますかー

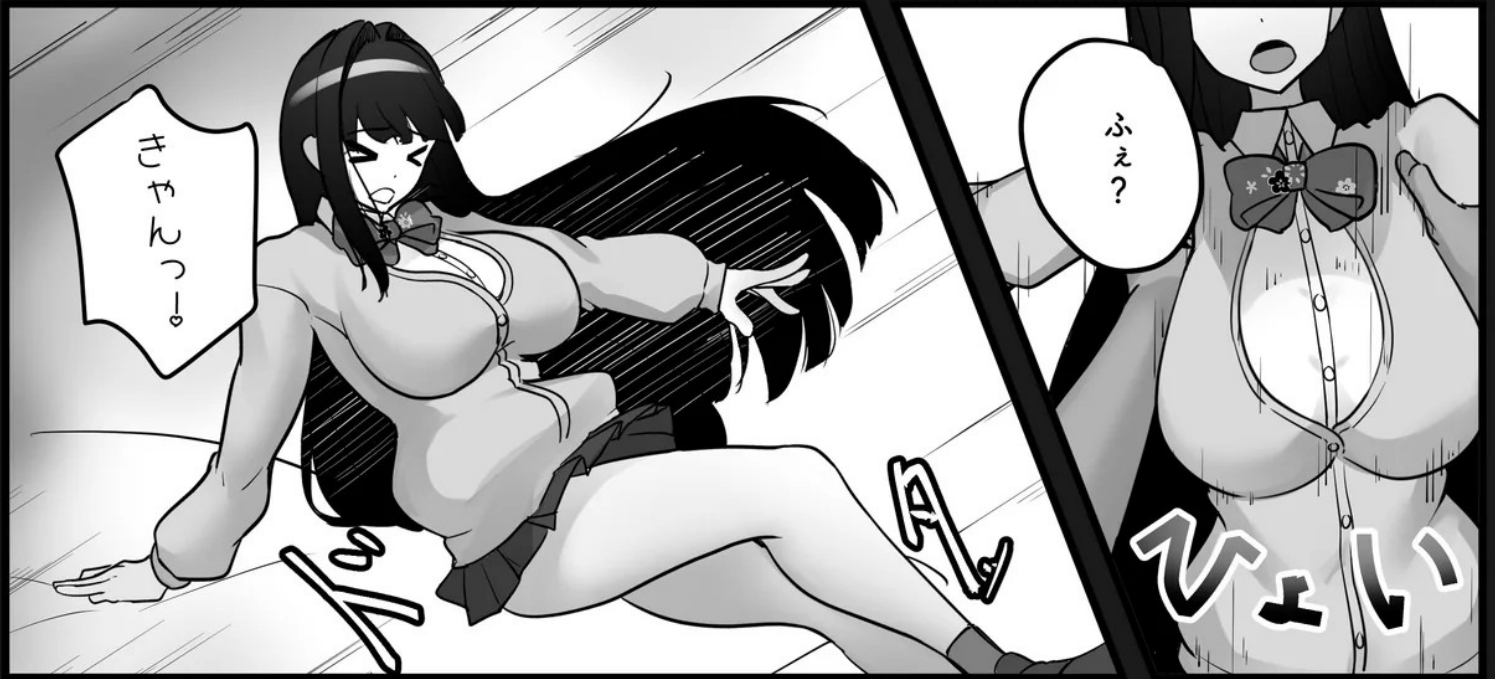
もうっ！



えっ!?

ち、違います！
キスしてる時に
脱いだんですっ！

ノーパンでなんか
外を歩きません!!



ん

ん

せんせっ!
そんないきなり♥

でも京子先生なんかより
本能的に私を求めるのは
当然です。

だって先生の
キスがえっち
だったからあ♥

ん



がつついてくる
先生好き♥

私の方が若くて、

体もえっちで、

髪も綺麗だし。

おっぱい

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻



料理も京子先生より
ずっと得意という自負が
あるし、

私なら子供も沢山
産んであげられるし、

ちゃんと専業主婦として
面倒も見てあげるし。

先生の変態的な性欲に
付き合えるのも、

私だけ。

はい

はい

ん

ん

ん





ねえ先生

実は私、

低用量ピルを
服用してるんです

なんでって……

先生のことが
好きだから

あんな消費期限間近の人に
先生を取られる可能性を
一ミリも残したくないから

ようやく“あの”作戦を
実行することにしました。



先生ともっと
女と男の関係に

いえ、

もっと本能的な

「メス」と「オス」の
交尾を味わいたい
からです

ゴム越しじゃ
伝わらない
私たちの愛を
体に刻み合いたい
から

3か月くらい前から
飲み続けてきました

だから先生♥

本能全開
生セックスで

バカになっちゃう
くらい気持ちいい
夜にしませんか？

なるべく緊張を
隠そうと努力して
いましたが、

心臓があまりに強く
鼓動を鳴らすので、
おっぱいが揺れて
しまっていたような
気がしていました。

とはいえ、
先生は私の体を
目線で舐め回すのに
必死でしたし、

射精したばかりの
おちんぼも徐々に
勃起してきていて、

私の体でそんなに興奮
してくれていることと、
先生も私と生セックス
したいと確信できた
ことで、

緊張は少しずつ
安堵と興奮に
変わっていきました。

ドキ

ドキ

きっと先生はいつも心のどこかに
生徒に手を出している罪悪感が
あって、本当の欲望を
隠していた気がします。

あ、

あ、

ん、

でももうそんな建前は
なくなっていて、

セックス中に
“JKにこんな格好させるの!?”
ってちょっと思ってしまった
ほどでした。

あ、

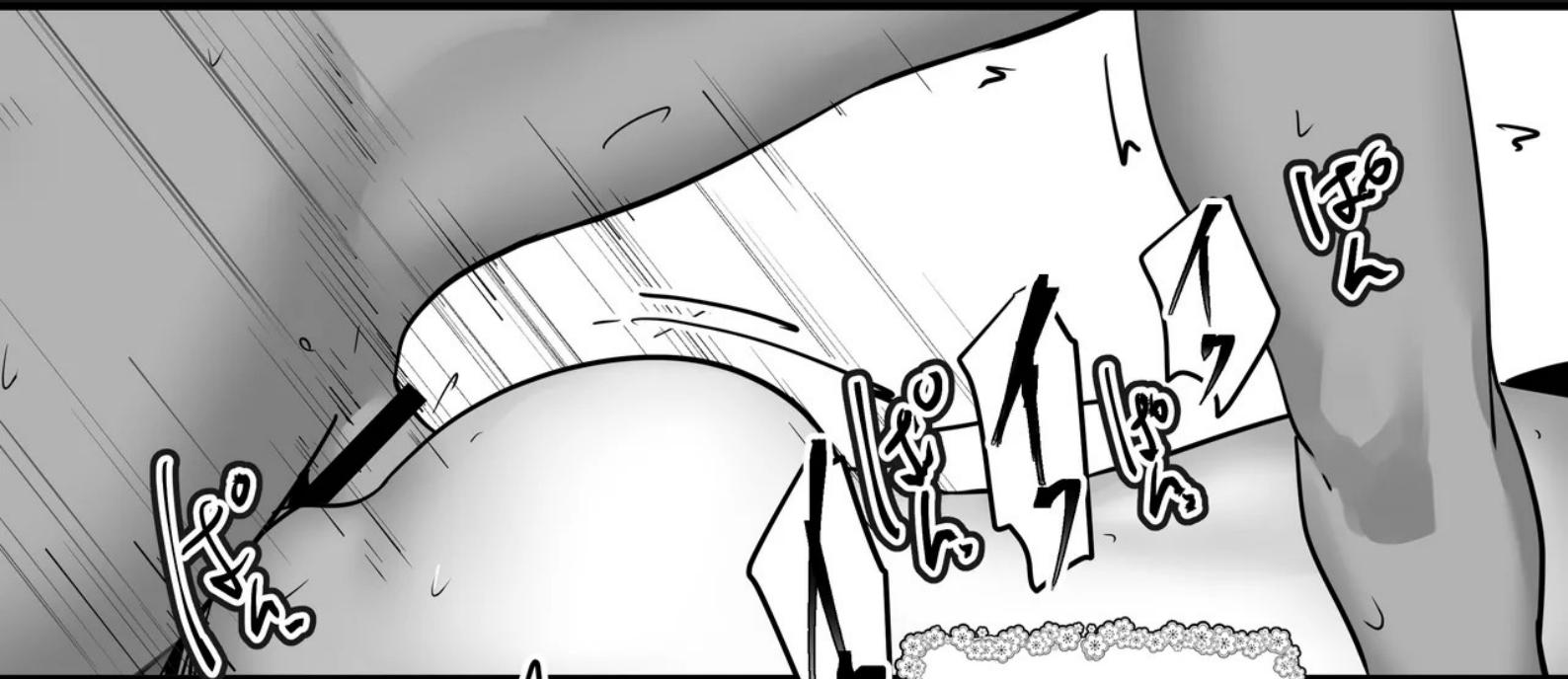
ん、

あ、

あ、



けれどそんな容赦のない
先生に貪られるのに
すごい興奮してしまい、



先生について中出しされた時、



ぽん
ぽん
ぽん

私も微かに残っていた建前がどうでもよくなってしまいました。

先生ともっとセックスしたい、その気持ちに体を乗っ取られたかのようでした。



ぽん
ぽん

その後、性欲に任せて
初めて自分で腰を
動かしてみました、

自分から先生の大きな
おちんぼを奥にぐりぐり
するのが気持ちよすぎて
中々難しかったです。

あと、いっぱいぱんぱんと
音がるようにやって
みようとしたら、

何回もおちんぼが
抜けちゃったんですけど、

JKの癖にケツデカくてエロい
なんて言われたのが嬉しくて
そんな拙いセックスでも
一人でイッてしまっ
ていました。



先生っ♡

待ってっ♡

今はあっ♡

イッてるからあ♡

本当にだめ♡

待って
まって!!

しかも、イッてしまって腰が動かせなくなった私の代わりに先生が思いっきりばんばんしてくれて、

今まで経験したことのない大きい絶頂に達しました。

先生ってばあ♡

イグ♡

もっと
おっきいの♡

自分でも信じられない声が出たのですが、あれがお腹から出す声ならぬ、おまんこから出す声なのかもしれませぬ。

おあおあ

そこからの記憶は少々
あやふやで、
先生にいっぱい使われた
体の感覚しかありません。

でもそんな現実を忘れてしまう
ような愛を確かめ合っている時間が
何より幸せでした。



おっぱい
おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

その後は私の小さなベッドで
お互い抱きしめ合って残りの
短い夜を一緒に寝ました。

愛を確かめ合っている時
その後は

先生はまだ寝ています。
そろそろ朝ごはんの支度を
始めようと思います。

それにしても、

これほど幸せな気分にな
れるとは思っていません
でした。

下調べまでして、
飲み会帰りの先生を
待ち伏せた甲斐が
あったというものです。

—完—